



システム制御用インターフェイス MAC-333IF 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事前にこの据付工事説明書を必ずお読みください。

インターフェイスについて

- インターフェイスには取付けできないルームエアコンがあります。取付けの前に、使用可能なルームエアコンか、「システムコントロール商品技術ガイドブック」または「住宅設備用 RAC HAC ポケットマニュアル」(以下、技術・工事マニュアルとする)でご確認ください。
- 電気用品安全法により、ルームエアコンは M-NET を介して空調冷熱総合管理システム(システムコントローラ)の Ethernet 通信や汎用の無線通信を、一般電気工作物(電気事業法の第三十八条第一項に規定)で使用することはできません。
- 本説明書で不明な点は、技術・工事マニュアルでご確認ください。
- 技術・工事マニュアルは下記 Web サイトでご用意しております。

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

製品のカatalog・技術情報等ははこちら
三菱電機WIN2K

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここで示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

禁止

指示を守る

水ぬれ禁止

電源プラグを抜く

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■インターフェイス本体にはAC100V・AC200Vは接続しない。インターフェイス本体に規定以上の電圧が接続された場合、破壊・火災の原因になります。 ■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない。誤動作による事故の原因になります。 ■心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着している方の近くで使用しない。医療機器の誤動作の原因になります。 ■お客さまご自身で分解・改造・修理をしない。感電・火災・ケガの原因になります。 ■浴室など大量の湯気が発生する所には取付けない。水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電・故障の原因になります。 ■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、感電・火災・インターフェイスの落下によるケガの原因になります。 ■据付けは、据付工事説明書に従って確実に進行。据付けに不備があると、感電・火災・インターフェイスの落下によるケガの原因になります。 ■電気工事は、第二種電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ■"図号"の意味は次のとおりです。 ■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。ケガの原因になることがあります。 ■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、感電・火災・インターフェイスの落下によるケガの原因になります。 ■取付けは、重量に十分耐えるところに確実に進行。強度の不十分な所に取付けると、インターフェイス本体が落下しケガの原因になります。 ■端子接続部に配線の外力や応力が伝わらないように固定する。接続や固定に不備があると、断線・発熱・発煙・火災の原因になります。 ■インターフェイスの接続作業時はエアコンのプラグを抜くかブレーカーを切る。感電の原因になることがあります。 ■インターフェイスのコネクターはエアコンの基板上に正しく接続する。接続や固定に不備があると、断線・発熱・発煙・火災の原因になります。 ■接続ケーブルは指定の位置に確実に固定する。固定に不備があると、感電・火災・故障の原因になります。 ■インターフェイス本体のカバーを確実に取付ける。インターフェイス本体のカバーの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。 |
|--|--|

注意

(誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にインターフェイス本体を取付けない。直射日光や高温・低温環境はインターフェイス本体の変形・故障の原因になります。 ■特殊環境には使用しない。油(機械油を含む)・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。 ■他の無線機器、電子レンジ、コードレスフォン、ファクシミリなどの近くで使用しない。誤動作の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ■幼児の手の届く場所には取付けない。ケガの原因になることがあります。 ■静電気による破壊を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除く。人体などからの静電気は、インターフェイス本体を破壊するおそれがあります。 ■取付工事・配線工事をする場合、接続機器の電源を切ってから進行。接続機器の電源を切らなかった場合、インターフェイス本体・接続機器の誤動作・故障の原因になります。 |
|---|---|

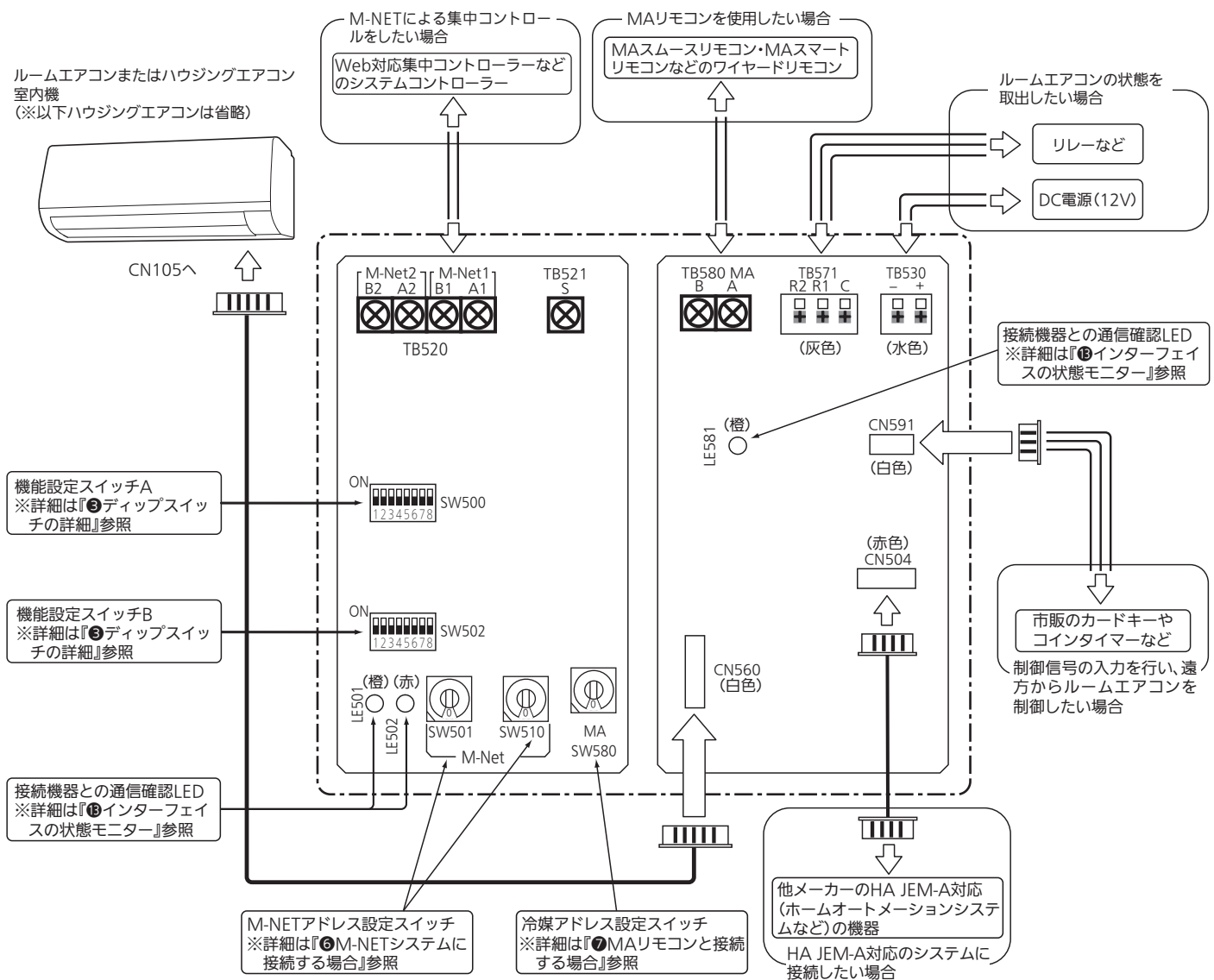
使用部品

同梱品											
①	インターフェイス本体 [接続ケーブル(5線)付き]		1	⑤	固定用コードクランプ (中)		4	⑨	ファスナー (リード線まとめ用)		5
②	壁面固定用ネジ 3.5×12		2	⑥	固定用コードクランプ (大)		3	⑩	リード線(3線)		1
③	クッション材(粘着材付)		1	⑦	④⑤⑥の固定用ネジ 3.5×12(インターフェイス本 体に固定する場合に使用)		4	⑪	⑤の固定用ネジ 4×10 (ルームエアコンの近傍に固定 する場合に使用)		1
④	固定用コードクランプ (小)		2	⑧	結束バンド		8	⑫	⑤の固定用ネジ 4×16 (ルームエアコン部品と共締め、 固定する場合に使用)		1

現地で準備していただく部品 (別売部品および一般市販部品)

Ⓐ	M-NET通信ケーブル	2芯シールド線(CVVS,CPEVS,MVVS) 線径1.25mm ² 以上 ※同一端子台で渡り配線する場合は1.25mm ² を使用してください。
Ⓑ	MEリモコンケーブル	・インターフェイス本体①からの距離が10m以内: 2芯シールド線(CVVS,CPEVS,MVVS) 線径0.3mm ² 以上 ・インターフェイス本体①からの距離が10m以上: 2芯シールド線(CVVS,CPEVS,MVVS) 線径1.25mm ² 以上
Ⓒ	MAリモコンケーブル	・2芯シース線 線径0.3mm ² ~1.25mm ² 以下の別売ケーブルも使用できます。 ・PAC-YT81HC(10m 線径0.3mm ²) ※コンパクトリモコンの場合、0.75mm ² ~1.25mm ²
Ⓓ	接続信号ケーブル	シース線 線径0.3mm ² 以上(接続する機器に適合した線径にしてください) ・遠方コントロール時: リード線(3線)⑩の延長ケーブル ・状態信号出力時: リレー接続用のケーブル、DC電源用のケーブル
Ⓔ	関連部品	システムにより、必要な部品をご用意ください。

インターフェイス各部の機能と電気配線



3

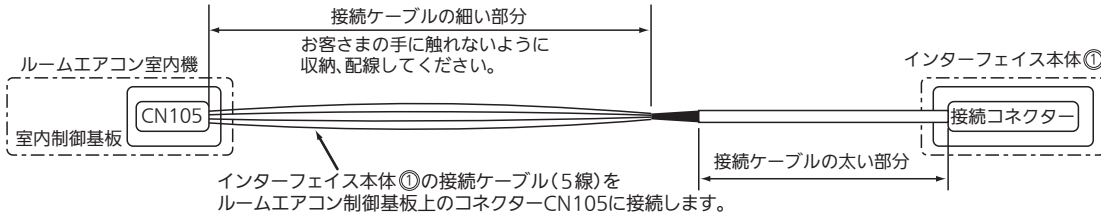
ディップスイッチの詳細

機能	SW 番号	内容	OFF (工場出荷状態)	ON	参照項
機能設定 スイッチA	SW500-1	停電自動復帰	無効	有効	⑩
	SW500-2	元電源発停	無効	有効	⑪
	SW500-3	室温検知位置	室内機	MAリモコン	⑦
	SW500-4	未使用	— (必ず OFF に設定してください)	—	—
	SW500-5	未使用	— (必ず OFF に設定してください)	—	—
	SW500-6	未使用	— (必ず OFF に設定してください)	—	—
	SW500-7	インターフェイス 状態表示切替	LE501 : ルームエアコンとの通信確認 LE502 : M-NET システムとの通信確認 LE581 : MAリモコンへの給電確認	LE501 : MAリモコンとの通信確認 LE502 : 消灯 LE581 : MAリモコンへの給電確認	⑬
	SW500-8	未使用	— (必ず OFF に設定してください)	—	—
機能設定 スイッチB	SW502-1	出力切替	運転または異常時に DC12V 出力	停止または正常時に DC12V 出力	⑨
	SW502-2	入力方式	常時接点	瞬時接点	⑧
	SW502-3	接点による操作禁止 範囲設定	M-NET システムコントローラー 運転/停止操作許可	M-NET システムコントローラー 運転/停止操作禁止	⑧
	SW502-4	入力 切替	入力方式 常時接点のとき 短絡することにより運転または操作禁止 入力方式 瞬時接点のとき 瞬時短絡により運転/停止を反転	開放することにより運転または操作禁止 何度瞬時短絡しても運転または停止	⑧
	SW502-5	接点による操作禁止の 動作設定	操作禁止前の状態	停止	⑧
	SW502-6	接点による操作禁止 解除時の動作設定	操作禁止解除前の状態	運転	⑧
	SW502-7	HA 出力切替	スタティック出力	ダイナミック出力	⑫
	SW502-8	同一グループ内のスリムエアコン混在設定 (MAリモコンによるグループ運転時のみ)	混在なし	混在あり	—

4

インターフェイスとルームエアコンの接続

- インターフェイス本体①とルームエアコンの室内制御基板をインターフェイス本体①の接続ケーブル(5線)で接続します。



- ルームエアコンに接続した接続ケーブル(5線)は、ルームエアコンに付属の据付工事説明書または、別紙「ルームエアコン本体との接続について」に従って配線してください。

お願い

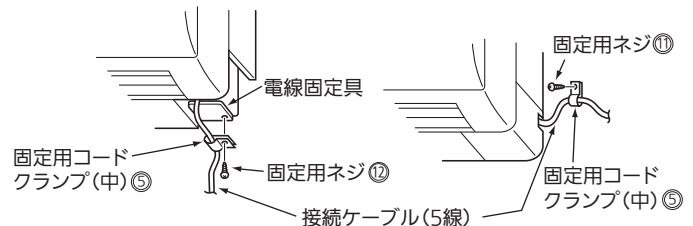
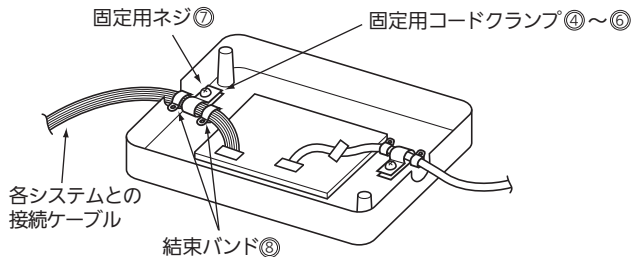
- インターフェイス本体①の接続ケーブル(5線)は延長または切断しますと、動作不良になります。また接続ケーブル(5線)を電源線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- 静電気による基板破損防止のため、必ず静電気除去を行って作業してください。

5

インターフェイスと各システムの接続(各システムの詳細は各システムの説明書をご覧ください)

- 各システムとの接続ケーブルは太さに合わせ、固定用コードクランプ④～⑥を取付け下図のように結束バンド⑧で確実に固定してください。
- ルームエアコンに接続した接続ケーブル(5線)は、ルームエアコンまたは、その近傍に固定してください。

ルームエアコン付属の電線固定具固定ネジが使用できない場合は、固定用ネジ⑫に交換してください。

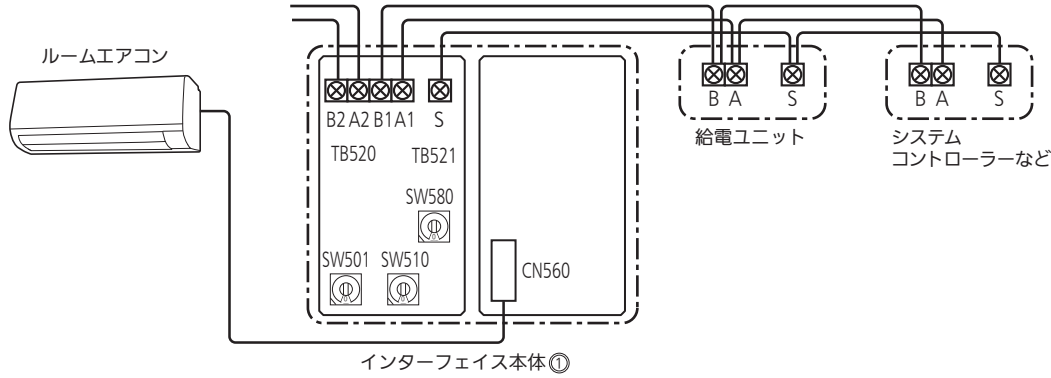


- 接続ケーブルは確実に固定しないと、コネクタが抜けたり、破損し、正常な動作をしません。
- インターフェイス本体①のディップスイッチ(SW500、SW502)、ロータリースイッチ(SW501、SW510、SW580)は、正しく設定されないと正常な動作をしません。
- インターフェイス本体①のディップスイッチ(SW500、SW502)、ロータリースイッチ(SW501、SW510、SW580)の設定は、電源を入れる前に行ってください。

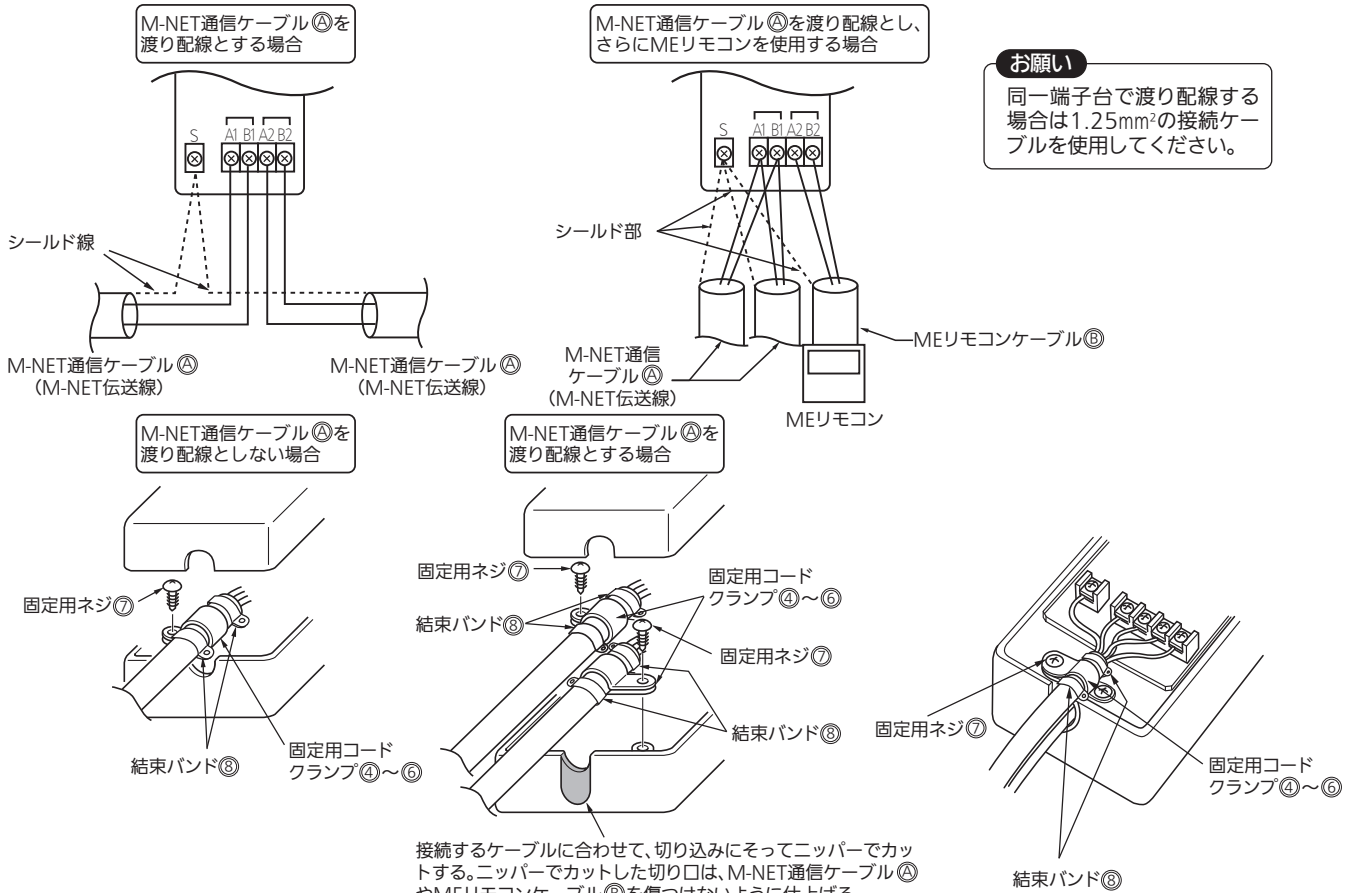
M-NETシステムに接続する場合

インターフェイスとM-NET伝送線の接続

M-NET 通信制御を用いたシステムコントローラーにより、ルームエアコンの集中、個別管理ができます。



- システムコントローラー、MEリモコンとの接続を行う場合、TB520にM-NET通信ケーブル④、またはMEリモコンケーブル⑤を接続してください。(極性はありません)2芯のM-NET通信ケーブル④を、A1・B1またはA2・B2に接続してください。(どちらに接続しても問題ありません)
- M-NET通信ケーブル④の渡り配線を行う場合のみ、各M-NET通信ケーブル④のシールド部を、S端子を使用して渡らせてください。
- 配線終了後、各電線を固定用コードクランプ④～⑥のいずれかでしっかりと固定し、図のように結束バンド⑧で固定してください。
- M-NET通信ケーブル④の配線長は技術・工事マニュアルを参照してください。



お願い
同一端子台で渡り配線する場合は1.25mm²の接続ケーブルを使用してください。

※露、虫などの進入防止のため、ケーブルなどの引込口をパテ(現地手配)で確実にシールしてください。

お願い

- M-NET通信ケーブル④/MEリモコンケーブル⑤は、他の電源用電線からできるだけ離して配線してください。接近していると誤動作の原因になります。
- M-NETシステムに接続し、更にMAリモコンを接続する場合は、MAリモコンの接続を1台までにしてください。
- システムコントローラーで複数のルームエアコンを同じグループに設定し、MAリモコンも併用する場合は、MAリモコンのグループ制御も行ってください。
- シティマルチまたはスリムエアコンと同じグループにしないでください。

※MEリモコン/システムコントローラーから試運転を行うことはできません。

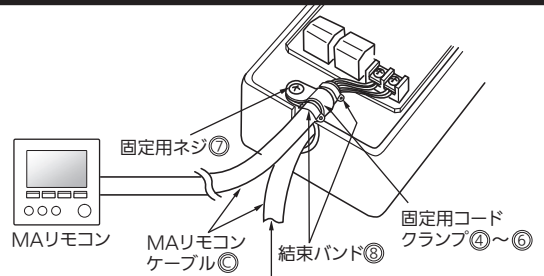
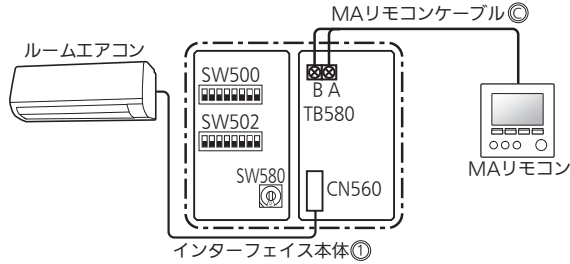
M-NET接続時の設定

SW 番号	アドレス	備考
SW510 SW501	M-NET アドレス 	集中管理用のアドレス設定を行います(アドレス設定可能範囲: 01~50)。SW510が10の位のアドレス、SW501が1の位のアドレスとなります。例えばアドレスを「25」に設定する場合は、SW510を「2」、SW501を「5」に設定します。 ※左記の図はアドレス 1 の場合
SW580	冷媒 アドレス 	MAリモコンを併用しない場合は、冷媒アドレス(SW580)を「1」に設定してください。

7 MAリモコンと接続する場合 (MAスムースリモコン、MAスマートリモコンを使用)

インターフェイスとMAリモコンの接続

ルームエアコンをワイヤードリモコンで操作することができます。



- MAリモコンとの接続を行う場合は、TB580にMAリモコンケーブル◎を接続してください。(極性はありません)
- 複数のルームエアコンをグループ運転する場合は、MAリモコンケーブル◎をTB580で渡り配線してください。
- MAリモコンは最大で16台のルームエアコンを同時制御することができます。
- MAリモコンは1グループで最大2台まで接続することができます。
- 冷媒アドレス“0”のインターフェイス本体①からMAリモコンまでの配線長は10m以内にしてください。
- グループ運転する場合は、MAリモコンケーブル◎の総配線長を50m以内にしてください。

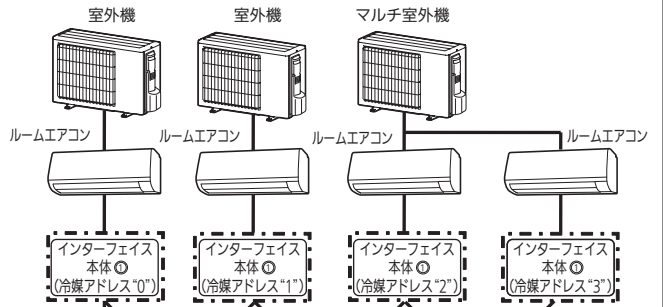
お願い

- MAリモコンの“自動冷暖表示設定”はOFFで使用してください。
- ※“自動冷暖表示設定”の方法はMAリモコンの説明書をご覧ください。
- ※“自動冷暖表示設定”をOFFにしない場合、リモコン表示と本体運転内容が異なることがあります。

※MAリモコンの試運転スイッチで試運転は行えません。

※シティマルチとのグループ運転はできません。

グループ制御



お願い

- ルームエアコンマルチ機種を接続した場合でも、ルームエアコンごとに異なる冷媒アドレスを設定してください。
- MAリモコンでグループ制御を行い、M-NETシステムに接続する場合は、M-METシステムコントローラー側でもグループ設定を行ってください。

MAリモコン接続時の設定

●冷媒アドレスの設定

SW 番号	冷媒アドレス	備考
SW580	アドレス0~15まで設定可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●MAリモコンに給電するインターフェイス本体①のアドレスは「0」に設定してください。 ●複数のルームエアコンをグループ運転する場合、グループ内で別々のアドレスに設定してください。 ※ロータリースイッチのA~Fは冷媒アドレス10~15に対応しています。

●室温検知位置の設定

機能	SW 番号	動作の詳細
室温検知位置	ON SW500-3 	OFFのとき ・室内機の吸い込み温度センサーで検知した温度を室温とします。 ONのとき ・MAリモコンの温度センサーで検知した温度を室温とします。

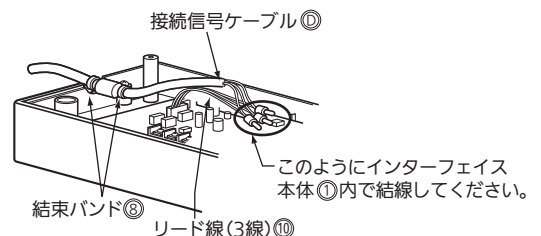
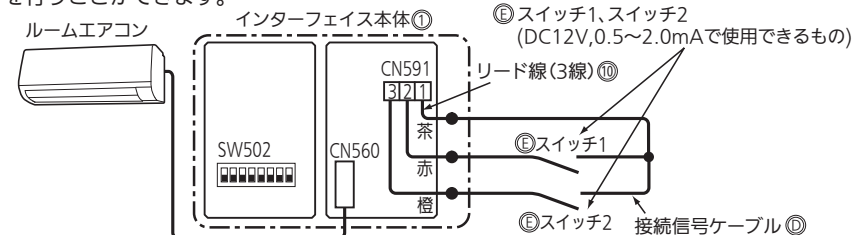
●同一グループ内のスリムエアコン混在設定 (MA リモコンによるグループ運転時のみ)

SW 番号	SW 番号	内容
同一グループ内のスリムエアコンの混在	ON SW502-8 	OFFのとき ・同一グループ内にスリムエアコンが混在しない場合はOFFにしてください。 ONのとき ・同一グループ内にスリムエアコンが混在する場合はONにしてください。

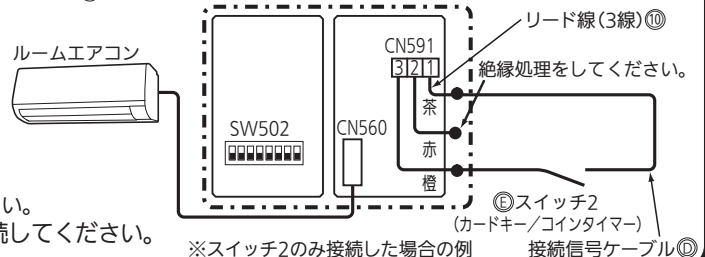
8 遠方コントロールを行う場合

インターフェイスとの接続

ON / OFF スイッチを用いて、ルームエアコンの運転 / 停止、および手元操作の禁止 / 許可を行うことができます。



- CN591とスイッチ1、スイッチ2の接続は上図のように行ってください。
- 付属のリード線(3線)◎をコネクターCN591に接続してください。
- 付属のリード線(3線)◎は上図、右側のように接続信号ケーブル◎とインターフェイス本体①内で接続してください。
- インターフェイス本体①からスイッチ1、スイッチ2までの配線長は50m以内にしてください。
- スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。
- 各接続パターンについては“遠方コントロール使用時の設定”を参照ください。
- ※カードキー/コインタイマーを使用したいときは、右図のように接続してください。



※スイッチ2のみ接続した場合の例 接続信号ケーブル◎

8 遠方コントロールを行う場合(つづき)

遠方コントロール使用時の設定(No.1~4のどれかを設定してください)

※カードキー/コインタイマーを使用する場合は、No.1とNo.5,6を設定してください。

No.	機能	SW 番号	使い方	動作の詳細
1	運転/停止、 手元操作禁止/ 許可 (常時接点)	SW502-2~4 		<ul style="list-style-type: none"> スイッチ1を短絡すると運転、開放すると停止となります。(スイッチ1の操作状態によらず、後操作が優先されます) スイッチ2を短絡すると手元操作禁止*開放すると手元操作許可となります。 SW502-4をONにするとスイッチ1とスイッチ2の開放と短絡が逆の動作となります。 ※手元操作禁止の場合、ワイヤレスリモコンおよびMAリモコン、MEリモコンの運転/停止操作を禁止します。(スイッチ1、M-NETシステムコントローラーからの操作は可能です)
2	運転/停止、 手元操作禁止/ 許可 (瞬時接点)	SW502-2~4 		<ul style="list-style-type: none"> スイッチ1を押す度に運転/停止を切り替えます。(スイッチ1の操作状態によらず、後操作が優先されます) スイッチ2を押す度に手元操作禁止*/手元操作許可を切り替えます。 ※手元操作禁止の場合、ワイヤレスリモコンおよびMAリモコン、MEリモコンの運転/停止操作を禁止します。(スイッチ1、M-NETシステムコントローラーからの操作は可能です)
3	運転/停止、 遠方操作/ 手元操作 (常時接点)	SW502-2~4 		<ul style="list-style-type: none"> スイッチ1を短絡すると運転、開放すると停止となります。 スイッチ2を短絡するとスイッチ1のみ有効(遠方操作)*、開放するとスイッチ1のみ無効(手元操作)となります。 SW502-4をONにするとスイッチ1とスイッチ2の開放と短絡が逆の動作となります。 ※遠方操作の場合、ワイヤレスリモコン、MAリモコン、MEリモコンおよびM-NETシステムコントローラーからの運転/停止操作ができなくなります。
4	運転、停止 (瞬時接点)	SW502-2~4 		<ul style="list-style-type: none"> スイッチ1を何度押しても運転となります。 スイッチ2を何度押しても停止となります。(スイッチ1,2の操作によらず、後操作が優先されます) ワイヤレスリモコン、MEリモコン、MAリモコンおよびM-NETシステムコントローラーからの運転/停止操作は有効となります。

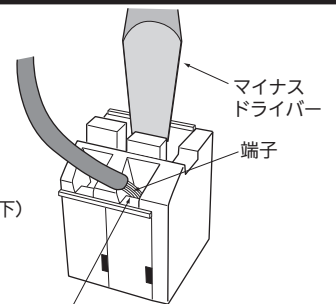
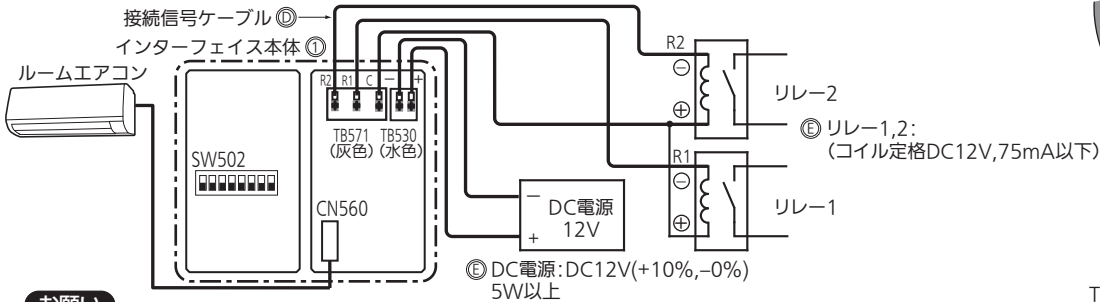
動作内容の設定 (No.1, No.2のときのみ有効です)
(下記2つの機能は併用して使用することができます)

No.	機能	SW 番号	使い方	動作の詳細
5	操作禁止時の 動作設定	SW502-5 	手元操作を禁止した場合の ルームエアコンの運転状態 を設定できます。	<p>OFFのとき</p> <ul style="list-style-type: none"> スイッチ2で手元操作禁止とした場合、手元操作禁止とする前の運転状態を維持します。 <p>ONのとき</p> <ul style="list-style-type: none"> スイッチ2で手元操作禁止とした場合、ルームエアコンを停止します。
6	操作禁止解除 時の動作設定	SW502-6 	手元操作禁止を解除した場 合のルームエアコンの運転 状態を設定できます。	<p>OFFのとき</p> <ul style="list-style-type: none"> スイッチ2で手元操作禁止を解除した場合、解除する前の運転状態を維持します。 <p>ONのとき</p> <ul style="list-style-type: none"> スイッチ2で手元操作禁止を解除した場合、ルームエアコンを運転します。

9 状態信号出力を行う場合

インターフェイスとの接続

ルームエアコンの運転/停止および異常/正常に同期して、外部のリレーをON/OFFできます。



TB571, TB530の各端子には接続ケーブルを2本以上差込まないでください。

お願い

- 電源用接続端子TB530には極性がありますので、確認のうえ接続してください。
- TB571にDC電源を接続しないでください。
- ダイオード内蔵型のリレーを使用する場合は極性に注意してください。TB571のCは⊕電位、R1およびR2は⊖電位です。

- TB571とTB530は右図のように、マイナスドライバーで押し込んでから配線を差込んでください。
- TB571とTB530の適合電線は、より線: 0.3mm²~1.25mm²、または単線: φ0.4mm~φ1.2mmです。
- TB571とTB530の電線皮むき寸法は7mm~10mmです。
- インターフェイスからリレー-1, リレー-2までの配線長は50m以内にしてください。

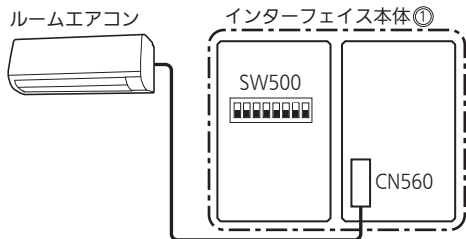
状態信号出力使用時の設定

機能	SW 番号	動作の詳細
状態信号出力	SW502-1 	<p>OFFのとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ルームエアコンが運転時にリレー-1がON、ルームエアコンが停止時にリレー-1がOFFします。 ルームエアコンが異常時にリレー-2がON、ルームエアコンが通常時にリレー-2がOFFします。 <p>ONのとき</p> <ul style="list-style-type: none"> リレー-1,2のON/OFFの動作が上記とは逆になります。

10

停電自動復帰を行う場合

停電からの復電時、停電前の運転状態で復帰します。



- マルチ機種に接続する場合は、停電自動復帰はできません。
- 停電自動復帰で、2台以上のルームエアコンを起動する時には、同時復帰とならないようなシステムとしてください。(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください)
- 元電源発停機能とは同時に使用できません。

停電自動復帰使用時の設定

機能	SW 番号	動作の詳細
停電自動復帰	SW500-1 ON OFF	OFF(無効)のとき ・ 停止で復帰します。 ON(有効)のとき ・ 元電源投入時、停電前の運転状態で復帰します。 ※ルームエアコン本体で本機能を設定している場合はOFFに設定してください。このときは、ルームエアコンの設定に従って復帰します。

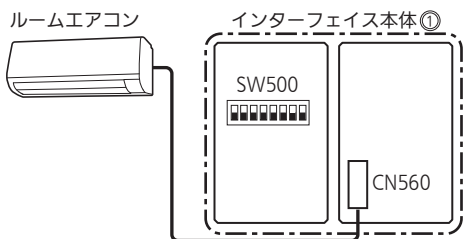
11

元電源発停を行う場合

ルームエアコンの元電源を入れると必ず運転します。

●初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットし、1分間元電源を切らないでください。

※長期間ご使用にならなかった時には、もう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。



- マルチ機種に接続する場合は、元電源発停はできません。
- 元電源発停で、2台以上のルームエアコンを起動する時には、同時復帰とならないようなシステムとしてください。(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください)
- 停電自動復帰機能とは同時に使用できません。

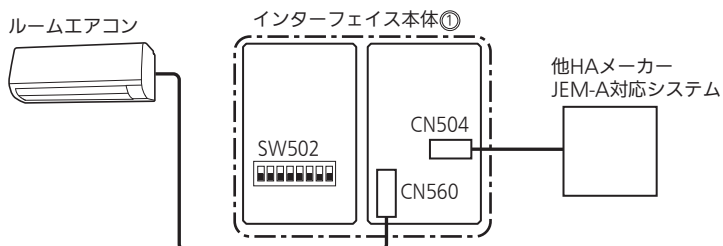
元電源発停使用時の設定

機能	SW 番号	動作の詳細
元電源発停	SW500-2 ON OFF	OFF(無効)のとき ・ 元電源投入時、停止で復帰します。 ON(有効)のとき ・ 元電源投入時、必ず運転します。 ※ルームエアコン本体で本機能を設定している場合はOFFに設定してください。このときは、ルームエアコンの設定に従って復帰します。

12

HAシステム

●コネクタCN504に他メーカー HA JEM-A対応システムが持つコネクタを接続してください。



エアコンの状態	停止	運転	停止
HA出力方式 ダイナミック方式	低電圧	高電圧パルス	低電圧
HA出力方式 スタティック方式	低電圧	高電圧	低電圧

※接続するHA JEM-A対応システムが要求する信号方式に合わせて設定してください。

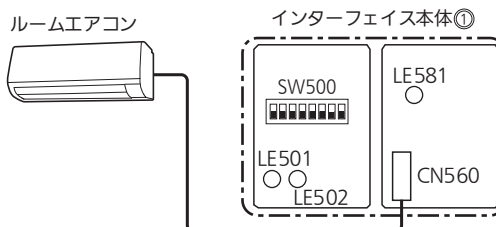
HAシステム使用時の設定

機能	SW 番号	動作の詳細
HA出力切替	SW502-7 ON OFF	OFFのとき ・ 出力方式をスタティック方式とします。 ONのとき ・ 出力方式をダイナミック方式とします。

13

インターフェイスの状態モニター

インターフェイス本体①の基板にあるLEDランプにより、インターフェイスの状態を確認することができます。



●下記を参考に通信チェックを行ってください。通信が正常に行えない場合、対象の通信線がコネクタや端子台からはずれていないか確認してください。

機能	SW 番号	動作の詳細
インターフェイスの状態モニター		OFFのとき ・LE501(橙)：約1秒間隔で点滅のとき、ルームエアコンとの通信が正常です。消灯しているとき、ルームエアコンとの通信が正常に行えていません。 ・LE502(赤)：約1分以内での点滅のとき、M-NETコントローラーとの通信が正常です。消灯しているとき、M-NETコントローラーとの通信が正常に行えていません。
		ONのとき ・LE501(橙)：約10秒間隔で点滅のとき、MAリモコンとの通信が正常です。消灯しているとき、MAリモコン通信が正常に行えていません。 ・LE502(赤)：消灯 ※LE581(橙)はSW500-7のON/OFFにかかわらず以下の状態を示します。 ・点灯しているとき、インターフェイス本体①からMAリモコンに給電しています。消灯しているとき、給電されていません。

14

インターフェイス本体の据付

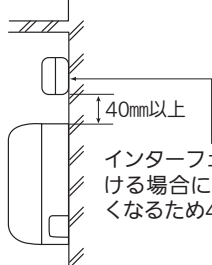
この部分からインターフェイス本体①の接続ケーブル(5線)を通してください。余った接続ケーブル(5線)は、室内機本体後部の配管スペースへ収納してください。取回しにより、たるみが生じた接続ケーブル(5線)はファスナー⑨でとりまとめてください。

お願い

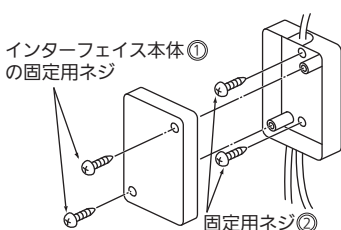
- ・インターフェイス本体①の設置場所は、インターフェイス本体①の接続ケーブル(5線)が、室内機へ届く範囲としてください。
- ・接続ケーブル(5線)の現地での延長は、正常に動作しなくなりますので、絶対に行わないでください。
- ・インターフェイス本体①の取付けは、柱・壁などに2本の固定用ネジ②を使って確実に固定してください。

壁面に直接据付ける場合

固定用ネジ②を使いインターフェイス本体①のケースを壁面に据付ける。

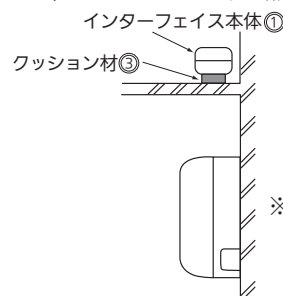


インターフェイス本体①を室内機上部に取付ける場合には、天面グリルの取外しができなくなるため40mm以上離してください。



天井内へ据付ける場合

インターフェイス本体①を天井内・壁内へ据付ける場合には、サービスできるように点検口を設けてください。



※クッション材③を使ってインターフェイス本体①を取付ける場合は、落下しない場所に固定してください。

15

ご使用上の留意事項

以下の制約内容については実際にご使用になる方に十分なお説明の上お渡しください。(据付け後はご使用される方に本紙をお渡しください)インターフェイス本体①はルームエアコンをパッケージエアコンの制御で動作させるものですが、ルームエアコンとパッケージエアコンの機能上の違いからいくつかの制約が出てきます。

- MA リモコン / ME リモコン / システムコントローラーで操作した内容は、ワイヤレスリモコンの表示に反映されません。
- ルームエアコン付属のリモコンで独自の除湿モードを設定した場合、MA リモコン / ME リモコン / システムコントローラーには対応するモードがないため "ドライ" と表示されます。
- 温度設定については、設定温度範囲がルームエアコンの方が広いため、ルームエアコンで 17℃ 以下、または 30℃ 以上で設定された場合、MA リモコン / ME リモコン / システムコントローラーの設定温度表示は、MA リモコン / ME リモコン / システムコントローラーで設定できる値のそれぞれ下限、上限に置き換えられて表示される場合があります。(例えばルームエアコンで冷房時 16℃ と設定されても、MA リモコン / ME リモコン / システムコントローラーの表示は 17℃ となる場合があります)
- タイマー運転は、ルームエアコン付属のリモコンか MA リモコン / ME リモコン / システムコントローラーのいずれか一方でのみ設定してください。同時期に両方で設定が行われますとタイマーが正常にはたきません。
- システムコントローラーで手元操作禁止(運転 / 停止、設定温度、運転モード)にした場合は、ルームエアコン付属のリモコンによる該当の操作は受けなくなりますが、禁止されていない操作は反映されます。また、このとき操作時の受信音「ピピピッ」が鳴ります。
- ME リモコン / システムコントローラー / MA リモコンからは、ルームエアコンの一部機能(左右風向操作など)は使用できません。